

経営概要書

法人名：

株式会社 秋田県食肉流通公社

(株12)

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役社長 土田 正広	所管部課名	農林水産部畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日
電話番号	018-882-2161	ウェブサイト	http://www.akitasmile.com/
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	445,710	33.8%
	全国農業協同組合連合会	378,490	28.7%
	独立行政法人農畜産業振興機構	320,000	24.2%
	その他25市町村4団体	175,500	13.3%
	合計	1,319,700	100.0%
設立目的	秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家経済の発展と県民生活の向上に寄与することを目的に設立		
事業概要	①肉畜の集荷、と殺、解体 ②枝肉及び副産物の買い取り並びに受託処理加工 ③食肉及び副生物の加工並びに貯蔵販売 ④前各号に付帯する一切の事業		
事業に関連する法令、県計画	と畜場法、食品衛生法		

2 平成29年度事業実績

と畜頭数は県内の肉豚の生産頭数の減少により事業目標を下回り、カット頭数についても集荷頭数減により事業目標を下回る結果となった。収益については、原油価格の高騰により光熱費が前年比10,900千円の増となったが、販売部門の収益改善が図られ、29年度事業実績は当期純利益8,873千円となった。また、県の支援を受け、と畜処理機械や浄化槽設備等の整備・改修を行った。

<事業目標>

項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
と畜頭数(豚換算：頭)	目標	182,750	180,000	182,180	180,100
	実績	180,301	176,079	173,232	—
カット頭数(豚換算：頭)	目標	92,500	92,000	99,000	96,700
	実績	89,748	86,237	91,079	—
顧客満足度指数	目標	90	90	90	90
	実績	83	83	91	—

3 組織

①役員数(H30.7.1現在) (単位：人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H29	H30	H29	H30	
常勤	3	3	1	1	支給対象者 (H29年度) 4人 平均年齢 61歳
内、県退職者	1	1			
内、県職員					
非常勤	7	7	2	2	平均報酬年額 (H29年度) 6,360千円
内、県退職者					
内、県職員					
計	10	10	3	3	
内、県関係者	1	1			

②職員数(H30.4.1現在) (単位：人)

区分	H29	H30	正職員
正職員	58	57	
内、県退職者			
出向職員	2	1	平均勤続年数 14.3年
内、県職員			
臨時・嘱託	5	5	平均年収 (H29年度) 3,951千円
内、県退職者			
計	65	63	
内、県関係者			

③取締役会回数

平成28年度	5	平成29年度	5
--------	---	--------	---

4 財務

①損益計算書 (単位：千円)

区分	平成28年度	平成29年度
売上高	8,898,976	9,134,133
売上原価	8,452,157	8,654,851
売上総利益	446,819	479,282
販売費及び一般管理費	427,895	472,961
人件費(売上原価含む)	356,361	354,685
営業利益(損失)	18,924	6,321
営業外収益	15,430	16,375
営業外費用	1,031	1,848
経常利益(損失)	33,323	20,848
特別利益	105,250	96,063
特別損失	106,027	96,010
法人税、住民税・事業税	15,199	12,028
当期純利益(損失)	17,347	8,873

②貸借対照表 (単位：千円)

区分	平成28年度	平成29年度
流動資産	955,969	986,905
固定資産	835,583	871,369
資産計	1,791,552	1,858,274
流動負債	176,360	195,597
短期借入金	32,880	47,172
固定負債	301,455	340,066
長期借入金	172,930	222,185
負債計	477,815	535,663
資本金	1,319,700	1,319,700
利益剰余金等	△ 5,963	2,911
純資産計	1,313,737	1,322,611
負債・純資産計	1,791,552	1,858,274

(単位：千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	174,516	84,411	48.4%

<主な経営指標>

項目	算式	平成28年度	平成29年度	H28-29増減※
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.4%	100.2%	△ 0.1
流動比率	流動資産÷流動負債×100	542.1%	504.6%	△ 37.5
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	73.3%	71.2%	△ 2.2
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100	15.7%	20.4%	4.7

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

5 県の財政的関与の状況

区分	平成28年度	平成29年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金	105,545	96,414	食肉流通体制強化事業、秋田牛販路拡大推進事業
委託費	3,169	2,028	秋田県産牛肉の放射性物質検査に係るサブリング等業務委託
指定管理料			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 食の安全・安心を確保すると共に、「秋田牛」等を始めとする県産ブランド食肉の販売対策に重点的に取り組み、本県畜産振興を牽引する主導的役割を果たしてきた。	A 会社法に遵守した組織体制（取締役会・監査役会・会計監査人）となっている。内部監査を毎年実施する計画となっている。	B 県内肉豚の生産頭数の減少により厳しい生産環境の中、流通販売業者や関係団体等の尽力と協力のおかげで、総じて順調な展開となった。	A と畜及びカット処理頭数ともに豚換算で計画未達だったほか、原油価格の高騰などマイナス要因もあったが、経費の節減や販売部門の収益改善が図られたことで、単年度887万円の当期純利益を計上し、操業以来の累積赤字を解消することができた。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 全県の畜産農家が生産した牛・豚のと畜・解体を行い、県民を始めとする消費者に衛生的で安全・安心な食肉を提供するという広域性・公共性の高い役割を担うとともに、秋田牛ブランドの推進など、県の畜産振興施策を具現化する重要なパートナーである。	A 事業の執行に必要な常勤の役員・職員が確保されているほか、取締役会の適正な開催を始め、安定した法人運営に必要な組織体制は十分に整備されている。	B 県内の家畜飼養頭数や食肉の需給・相場の動向を把握・分析した上で、処理頭数や販売額等について、適切に目標を設定している。29年度については、集荷は計画数値に近い実績、販売は目標を上回る実績をあげている。	A 29年度の当期純利益8,873千円により累積赤字が解消し、設立以来初めて黒字となり、当期末利益剰余金2,910千円を計上した。

III 外部専門家のコメント

前期比で増収・減益となったが、売上高及び経常利益ともに安定してきた。27年度以降、継続的に当期純利益を計上してきたことで、設立40年目にして創業以来の累積赤字を解消した。借入金が、ここ3年間で114百万円、205百万円、269百万円と増加してきているが、それと同時に機械等の有形固定資産が同様に増えてきている。新たな設備投資を行っているので、今後償却負担が増えてくるものと考えられる。粗利率や売上高営業利益率が低いので、償却費を吸収するには売上高を伸ばすことが必要である。それによって、剰余金も今後増やしていくことが可能となる。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 三セクの行動計画上は「設立支援を目的として出資等した法人で、その目的が達成された法人」に位置づけられている。しかし、と畜場として公衆衛生に一定の役割を持つことから、引き続き、衛生的で安全・安心な食肉を提供していくことが求められる。	A 常勤の役職員がおり、組織体制は整っていることから、適切であると認められる。	B 引き続き、安定した集荷頭数の確保に向けた取組が期待される。	A 単年度経常黒字を維持し、課題であった創業以来の累積赤字を解消した。引き続き、収益の確保による経営の安定化が望まれる。

V 前年度委員会評価

1 公共的役割	B	2 組織体制	A	3 事業実施	B	4 財務状況	B
---------	---	--------	---	--------	---	--------	---

評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組（概要）

- ・と畜解体施設の整備等により衛生的で安全・安心な食肉の提供に継続して取り組んだ。
- ・適切な組織体制の維持に取り組んだ。
- ・安定した集荷頭数の確保を図るため、県内畜産業者や県外業者へ、本公社でのと畜誘導に重点的に取り組んだ。
- ・顧客満足度の向上を図るため、消費者等を含め引き続きアンケート調査に取り組んだ。
- ・単年度経常黒字を維持するため修繕費等の節約に取り組んだ。